

# がん治療の

# 明日

# ゲノム医療費用の壁

3

がんの原因遺伝子を調べ  
る検査。それだけで、かか  
る費用は65万円―。

北海道恵庭市の五十嵐恵  
さん(55)は、その金額を知  
り立ちすくんだ。

「北大(北海道大学)で、  
遺伝子検査を受けますか。  
自費診療ですけどね」

昨年10月、北海道がんセ  
ンター(札幌市)の主治医  
が投げかけた言葉に心が動  
いた。しかし、それには保  
険が利かないのだという。

2012年に卵巣がんと  
診断され、手術で卵巣と子  
宮を摘出した後、使った抗  
がん剤は20種類を超える。

効果のないものもあれば、  
副作用が強くて使えないも  
のもあった。やがて小腸や  
脾臓へ転移。治療は手詰ま  
りになっていた。

がんの原因になりうる1  
00種以上の遺伝子変異を  
一度に調べ、患者のがんの  
原因遺伝子を探すがゲノ  
ム医療。この方法なら、個  
々の患者に適した薬を選べ  
る可能性があるが、日本で  
は、研究を除くと一部の病  
院でしか受けられない。

しかも、費用は全額自己  
負担。子ども2人はすでに  
社会人とはいえ、住宅ロー  
ンの返済が5年分も残って  
いる。娘の結婚資金は援助

高額の費用を理由に一度は遺  
伝子検査をあきらめた五十嵐  
恵さん。「普通の人にも受け  
やすい体制になってほしい」  
(北海道恵庭市の自宅で)



高額の費用を理由に一度は遺  
伝子検査をあきらめた五十嵐  
恵さん。「普通の人にも受け  
やすい体制になってほしい」  
(北海道恵庭市の自宅で)

したい。生活に余裕はない。  
「あきらめよう」。自分の  
ために、夫に負担をかけた  
くなかった。

「金のごとは気にするな。  
治療のためなら、貯金をは  
たいたっていいんだ。検査  
やってみろ」

経緯を打ち明けられた夫  
の守正さん(59)はそう即答  
した。老後の蓄えにと10年  
ためた貯金をおろし、費用  
に充てた。

こうした遺伝子検査を自  
費診療で受けられるのは北  
大、京都市大、千葉大、順天  
堂大、横浜市立大、岡山大  
など。北海道がんセンター  
も先月導入した。研究とし  
て無償で行われているもの  
もあるが、それは一部だ。  
公的な医療保険が利かな  
い自費診療の場合、五十嵐

さんが直面したように、患  
者には高額な費用の問題が  
立ちほだかる。病院によっ  
て金額はまちまちだが、40  
万〜100万円と、一般庶  
民には手が届きにくい。

遺伝子検査をしてせつか  
く薬にたどり着いても、そ  
れが未承認となればまた自  
費診療となり、月100万  
から数百万円。保険診療の  
薬で副作用被害があった場  
合は、公的な救済制度があ  
る。しかし、自費診療はそ  
の対象にならない。

例えば京大病院で検査を  
受けた患者は、17年4月ま  
での2年で155人。その  
8割の122人で治療薬の  
選択につながる遺伝子の変  
異が見つかったが、実際に  
治療を受けたのは18人。そ  
れ以外は、体調が悪化して  
断念した人のほか、費用を

工面できないことを理由に  
あきらめた人もいた。  
がん治療薬に詳しい武藤  
学・京大教授は「薬が見つ  
かっても、検査だけでなく  
治療費も自費になることが  
多い。患者さんにはそれを  
理解してもらわざるをえな  
い」と話す。  
厚生労働省は18年度中に  
も、こうした検査に保険が  
利くようにする考えだ。た  
だし、それは高度ながん治  
療ができる7か所程度の病  
院に限られそうだ。  
五十嵐さんは、検査でが  
んの原因遺伝子がわかり、  
それに合う薬が近々保険診  
療として承認されそうだ。  
「まだ望みがあるかわか  
らなくてうれしい。ただ、家族  
に迷惑をかけた。誰もがお  
金を気にせず検査を受けら  
れるようになってほしい」